

教育 かしま

第52号

発行日
令和4年12月15日
発行
鹿嶋市教育委員会
連絡先
鹿嶋市教育委員会
Tel0299-82-2911（内線523）



（電子版はこちらから）

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます。

鹿嶋市教育懇談会が開催されました



▲11月9日に行われた教育懇談会の様子

去る11月9日（水）に鹿嶋市まちづくり市民センターで教育懇談会を開催しました。教育懇談会は今後の鹿嶋市の教育行政の発展を目的として、教育委員会が重点的に実施している施策を周知するとともに保護者から教育に関する意見を伺う場として、毎年「いばらき教育月間」である11月に開催しております。懇談会では、市内小中学校に通学している児童生徒の保護者の皆様が、教育長をはじめ教育委員及び教育委員会事務局職員と、鹿嶋市の教育行政について意見の交換を行いました。

はじめに、教育委員会事務局から、市の教育事業（鹿嶋市授業改善プロジェクト、TPR（全身反応教授法※）等の英語教育の状況、かしま子ども大学等）について説明をしました。

保護者の方々からは、小学校の統廃合に関することや、かしま子ども大学の対象年齢の引き下げなどのご意見をいただきました。

事務局側からは、「統廃合については、現状考えていない。保護者の考えを最大限尊重したい。」「子ども大学は少し背のびした専門性を追及しており、学年を広げてしまうと、授業の焦点があいまいになってしまうため5・6年生としている。」などの説明をしました。

次年度も、教育懇談会にて、市民の皆さまの貴重なご意見を受けとめ、教育行政の参考とさせていただきます。



▲事務局へ質問の様子

※全身反応教授法・・・英語を聞いて理解することと理解したことを動作で表現することを組み合わせた教授法

鹿嶋市授業改善プロジェクト

～教師の「教えたい」ことを児童生徒の「学びたい」ことへ～

市では、「地域が育て、地域を創り、未来を拓く鹿嶋っ子」を基本理念として、「知」「徳」「体」のバランスのとれた教育の推進に努めています。

「予測困難」と言われる未来を生き抜く子どもたちに、目指す力を身に付けさせるためには、毎日の授業を充実させること、新しい授業スタイルへの転換が不可欠です。

市では、「鹿嶋市授業改善プロジェクト」として、3つの力（**言語を活用する力、情報を活用する力、自ら問題を発見し解決する力**）を身に付けられるよう、市内小中学校で授業の改善に努めています。

また、教師は、第一線で活躍されている著名な大学教授等を講師に迎えて、専門的なアドバイスをいただきながら全ての子どもたちの学びのために、研修に励んでいます。



▲授業改善プロジェクト

講師の方々

元文部科学省学力調査官 大妻女子大学教授 樺山 敏郎先生
「国語科を中心とした単元づくり」

元文部科学省教科調査官 敬愛大学教授 向後 秀明先生
「言語活動を中心とした中学校外国語（英語）の授業づくり」

文部科学省ICT活用教育アドバイザー 平井 総一郎先生
「ICTを活用した効果的な授業づくり」



▲樺山先生による研修講座

保護者の皆様・地域の皆様へお願い

子どもたちが未来に希望を持ち生き抜く力を身に付けるためには、学校、家庭、地域が一体となり、“チーム鹿嶋”で子どもたちを育てていくことが重要です。今後とも鹿嶋市の教育にご理解とご協力をお願いいたします。

ICTを活用した学びのイノベーション推進プロジェクト



▲ICTを活用した振り子の動きの学習

11月11日（金）三笠小学校で、1人1台端末を活用した公開授業が行われました。

このプロジェクトは、県内6校がモデル校として指定されており、鹿行地区では、三笠小学校が選ばれています。三笠小学校では、AI学習ドリルやスライドを使った個別最適な学びや、ICTを効果的に活用した共同的な学びを研究しています。

5年生の理科「振り子の動き」について、実験を行い、その結果を共有し、考察するという授業が行われました。子どもたちは、実験のデータを端末に入力して、瞬時にグラフ化したり、端末や電子黒板を通して、他のグループと結果を共有しました。端末を使って自分の考察をスライドに入力したり、早く終わった子どもはAI学習ドリルに取り組んだりするなど、子どもたちはパソコンなどを巧みに活用していました。

生き生きと授業に臨む子どもたちの姿や、熱心に参観する教職員の姿が見られました。



▲熱心に授業に臨む子どもたちと

高松トピックス！ 高松小・中学校が新しくなります！



高松小学校
マスコットキャラ
「まつき」さん

①高松中学校で大規模改造工事を行っています。

高松中学校の工事は学校施設の老朽化対策と併せて、小中一貫教育をすすめる高松小学校と高松中学校の施設を一体化するもので、鹿行地区初の試みとなります。この施設一体工事により、小中学校間の連携が一層深まり、義務教育9年間の学習指導と生活指導の、更なる充実が期待されます。

体育館



中庭(遊具)



教室



廊下



▲建物内の様子

②工事現場見学会を行いました

10月13日（木）に高松小中学校の児童生徒が大規模改造工事の現場を見学しました。

子どもたちは、ヘルメットを着用して、校舎の中を移動し、現場監督から、工事の進捗状況や各教室の説明を聞きました。子どもたちは、工事途中のきれいになる教室を見て驚いたり、新しい遊具広場を見て喜んだり、完成を楽しみにしている様子でした。



▲見学の様子

鉢形小学校が体育研究最優秀校に選ばれました

11月10日（木）に滋賀県で行われた第61回全国学校体育研究大会滋賀大会において、鉢形小学校が「令和4年度 全国学校体育研究最優秀校（文部科学大臣賞）」を受賞しました。

鉢形小学校は、児童の知識や判断力の向上に加え、運動能力を育成するためにICTを活用する研究を行い、学校体育の発展に寄与しました。



▲左から渡辺教務主任、川村教育長、太田校長

令和5年度に小学校へ入学される新1年生 にランドセルをお贈りします

鹿嶋市では、毎年市内小学校へ入学する児童を対象に、ランドセルを贈呈しています。

ランドセルのサイズ、重さなどの課題を解消するため、令和5年度からデザインが変わります。

また、交通安全協会様よりランドセルカバーの代わりに、傘を寄贈していただく予定です。



▲令和5年度配布予定の
ランドセル(キャメル色)

▲寄贈（予定）
される傘



中央図書館からのお知らせ



あなたのスマホが 図書利用カードになります！



令和4年12月1日から、スマートフォンを提示することで図書の貸出しができるようになりました。

お手持ちのスマートフォンで、図書館ホームページにログインして「利用者バーコード表示」をしていただくと、バーコードが表示されます。

表示されたバーコードをそのまま貸出の際に、ご提示ください。

※ログインには、**図書利用番号・パスワードが必要**です。

詳しくは、館内掲示等または図書館職員までお問い合わせください。

非対応の機種もありますのであらかじめご了承ください。



中央図書館問い合わせ先

TEL：0299-83-2510

鹿嶋市産野菜の寄贈及び給食が提供されました



▲11月16日の給食
(ごはん、すぶた、ぼうぎょうざ、えびだんごスープ、牛乳)



▲寄贈された食材
鹿嶋産特別栽培米コシヒカリ500kg
チンゲン菜58kg、ピーマン46kg



10月25日(火)にJAなめがたしおさい農業協同組合様から地元農産物を子どもたちに味わってもらい、JAグループが推進する「国産国産」につながるようにと鹿嶋市産の特別栽培米と野菜の寄贈がありました。

寄贈していただいたお米と野菜は11月16日(水)に市内公立小中学校、県立鹿島高等学校附属中学校の給食にて提供されました。

子どもたちからは、「美味しかった」「地元農産物を味わえて、自然の力を感じた」と感想をいただきました。

鹿嶋の歴史第4弾



▲岩偶「くりやっほー」



▲どきどきセンターHP

粘土で作られた土偶に對して、石を加工して作られた人形の像を岩偶(がんぐう)と言います。
厨台遺跡群の岩偶は、国道51号線バイパス工事などに伴う一九八〇年〜一九九〇年代の発掘調査で発見されました。軽石製で高さ、幅共に約5.3cm、重さは約42g。目と口に見える穴と、左手を上突き出した愛らしいポーズが特徴で、縄文時代中期のものと推定されています。厨台遺跡近辺で作られたのか、別の場所で作られたものが持ち込まれたのかは定かではありませんが、全国的に見ても類似のものは発見されておらず、遺跡近辺で作成された可能性もあります。

令和2年に茨城県立歴史館の特別展での展示の際にポスタービジュアルに抜擢され一躍脚光を浴び、令和4年7月には公募により愛称が「くりやっほー」に決定しました。現在は鹿嶋市どきどきセンター(鹿嶋市粟生二二四二一)に展示されています。

厨台遺跡群の岩偶「くりやっほー」